

遊佐パーキングエリアタウン（道の駅鳥海移転整備）事業建築基本設計委託業務 公募型プロポーザル審査要領

1 目的

本要領は、遊佐パーキングエリアタウン（道の駅鳥海移転整備）事業建築基本設計委託業務公募型プロポーザル実施要領において規定する最優秀者、優秀者の各1者の選定を実施する上で、必要な審査方法、評価項目を定めるものである。

2 審査方法等

審査については二段階審査とし、以下のとおりとする。

（1）第一次審査（書類審査）

実施要領に基づき提出された資格及び実績等（様式3-1～3-6）をもとに、事務局により客観的に審査する。

書類審査の結果は第二次審査へは持ち越さないこととする。

（2）第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）

実施要領に基づき提案された提案書（様式5-2、5-3）をもとに、審査委員によりプレゼンテーション及びヒアリング（以下「プレゼン等」という。）を実施し主観的に審査する。

（3）評価項目等

評価点については、別紙プロポーザル評価表のとおりとする。プレゼン等については、提案内容の理解を深めるとともに、提案者の説明能力や質疑応答能力を含めた総合的な力量を審査する。最優秀者・優秀者の決定は、すべての提案者を終了した後に、委員間でプレゼン等の内容を含めて各提案についての意見交換を行い、ふさわしい者を選定理由を付して決定する。

3 審査委員会

審査委員会は、以下のとおりとする。

No	役 職	所 属	氏 名
1	委員長	遊佐町副町長	池田 与四也
2	副委員長	東北公益文科大学 観光・まちづくりコース 教授 (遊佐PAT計画推進委員会委員長)	温井 亨
3		山形県立産業技術短期大学校 建築環境システム科 教授	江川 嘉幸
4		公益財団法人山形県建設技術センター 業務部建築課長補佐 (一級建築士)	菅原 治
5		遊佐町地域生活課長兼高速道路対策室長	太田 智光

【別紙】

遊佐パーキングエリアタウン（道の駅鳥海移転整備）事業建築基本設計委託業務
公募型プロポーザル評価表

①【第一次審査（書類審査）】

資格実績等（3-1～3-6）により別紙評価基準により客観的に評価する。

審査項目				着目点	配点計	配点	ウェイト	評価	
第一次審査（書類審査）	遂行能力	担当者の能力	資格内容	総合担当	各担当分野について、資格の内容を評価基準表により評価する。	8			
				構造担当		4			
				電気担当		4			
				機械担当		4			
				ランスケ担当		4			
			業務実績	管理技術者	以下の順で評価する。 ① 同種業務の実績がある。 ② 類似業務の実績がある。	4	36		
				総合担当		4			
				構造担当		4			
				電気担当		2			
				機械担当		2			
				ランスケ担当		2			
				管理技術者		2			
				総合担当		2			
				構造担当		2			
				電気担当		2			
			CPD	管理技術者	CPD取得単位を評価する。	2	12		
				総合担当		2			
				構造担当		2			
				電気担当		2			
				機械担当		2			
				ランスケ担当		2			
小 計					72	72			

遊佐パーキングエリアタウン（道の駅鳥海移転整備）事業建築基本設計委託業務
公募型プロポーザル評価表

②【第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）】

提案書（５－２，５－３）に対する、理解度・取組意欲・質問に対する応答性を総合的に評価する。

審査項目		着目点	配点計	配点	ウェイト	一次評価	最終評価	
第二次審査 (プレゼンテーション及びヒアリング)	業務の実施方針等	理解度及び取組み意欲	25	10				
		実施方針(担当チーム)取組体制		8				
		工程計画		7				
	業務内容を理解し、担当チームが連携されていることが感じられるか評価する。							
	特定テーマに対する技術提案	テーマ 1	条件に対する的確性	20	10			
			条件に対する実現性		7			
			条件に対する独創性		3			
		テーマ 2	条件に対する的確性	20	10			
			条件に対する実現性		7			
			条件に対する独創性		3			
テーマ 3		条件に対する的確性	20	10				
		条件に対する実現性		7				
		条件に対する独創性		3				
的確性(キーワードの網羅等)・実現性(条件の整合性、説得力等)・独創性(前例のない提案工夫等)等を総合的に評価する。								
ヒアリング	質問に対する応答性	15	15					
小 計			100	100				

**遊佐パーキングエリアタウン（道の駅鳥海移転整備）事業建築基本設計委託業務
公募型プロポーザル評価表**

各配点に対し下記の基準ウェイトで計算する。

【第一次審査】

提出書類による客観的評価とする。

担当者資格内容評価基準		
分野	資格	ウェイト
総合	一級建築士	1.0
構造	構造設計一級建築士	1.0
	一級建築士	0.6
	二級建築士	0.4
電気	設備設計一級建築士	1.0
	一級建築士・建築設備士	0.6
	二級建築士	0.4
機械	設備設計一級建築士	1.0
	一級建築士・建築設備士	0.6
	二級建築士	0.4
ランドスケープ	一級建築士	1.0
	技術士（都市及び地方計画、道路）	0.8
	RCCM（造園、都市計画及び地方計画、道路）	0.4

担当者業務実績評価基準		
区分	評価実績	ウェイト
同種	県内	1.00
	県外	0.90
類似	県内	0.85
	県外	0.80
その他	実績なし	0.00

C P D評価基準		
区分	C P D単位	ウェイト
取得単位	24単位以上	1.0
(過去2年の合計)	12～23単位	0.5
	12単位未満	0.0

【第二次審査】

A～Eの5段階評価とする。

提案書内容・ヒアリングにより主観的に評価する。

評価	基準	ウェイト
A	大変良い	1.0
B	良い	0.8
C	普通	0.6
D	やや不十分	0.4
E	不十分	0.0

実施方針等			
区分	基準	配点	計
業務実施方針	理解度及び積極性	10	25
	担当チームの取組体制	8	
	工程計画	7	

特定テーマに対する技術提案			
区分	基準	配点	計
テーマ1	条件に対する的確性	10	20
	条件に対する実現性	7	
	条件に対する独創性	3	
テーマ2	条件に対する的確性	10	20
	条件に対する実現性	7	
	条件に対する独創性	3	
テーマ3	条件に対する的確性	10	20
	条件に対する実現性	7	
	条件に対する独創性	3	

ヒアリング		
区分	配点	計
応答性	15	15